

皿倉山&権現山

福岡県 北九州市 2025年 11月6日

八幡東区・八幡西区民が仰ぐ故郷の山



山頂からは、眼下に北九州市街地が広がる。ここからの百億ドルの夜景は、2022年、「日本新三大夜景都市」に再認定され、北九州市の夜景の中でも屈指の名所。

本日のコース <全行程 4時間23分>

皿倉山ケーブルカー山麓駅 10:20 → <ケーブルカー乗車> → 山上駅下車 10:30 →
皿倉山山頂 10:40 → 皿倉平 11:23 → 皇后杉 11:35 →
権現山山頂 12:03 <昼食休憩> 12:43 → 皿倉平 → 13:03 → <表登山道> →
花尾分かれ 13:51 → 皿倉山ケーブルカー山麓駅 14:43

5年振りに会う友人Y君と皿倉山を歩くことになった。上りはケーブルカー利用だったが、お天気もよく、権現山まで足を伸ばして結局7.7kmを歩いて秋の帆柱山系にどっぷり浸った。

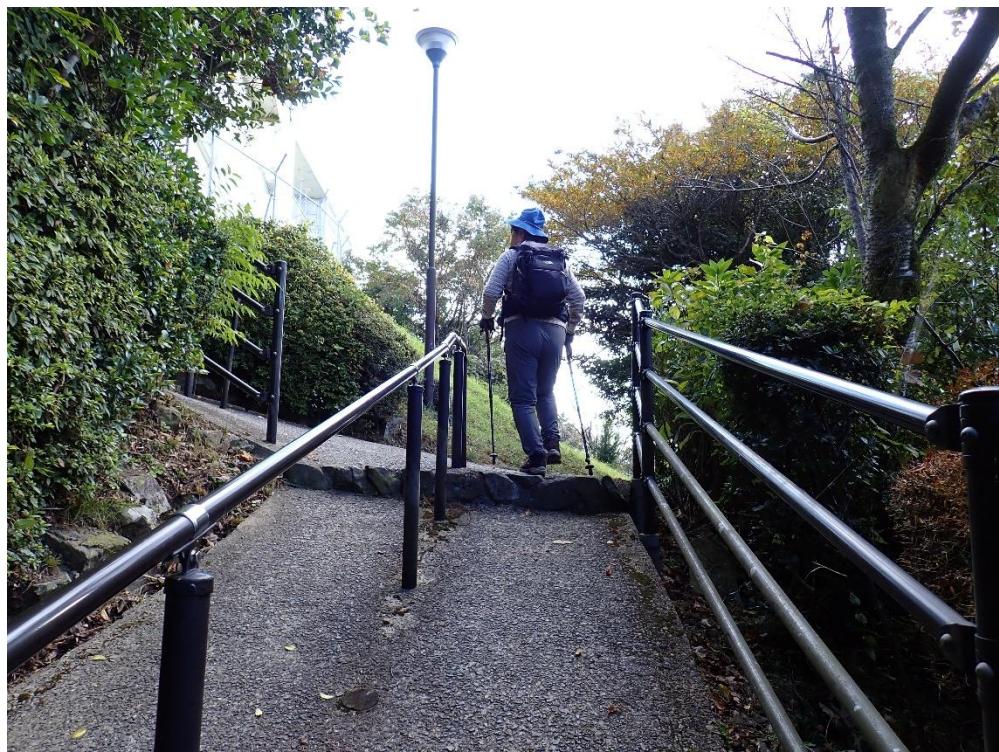


皿倉山ケーブルカー山麓駅 10:20発 ケーブルカーに乗車



10分足らずで山上駅に到着 10:30

スロープカーに乗って直接山頂を目指してもよかったです、それではさすがに登山に来たとは言えないでの…(笑)。ここから山上駅を出てすぐ左斜め前にある階段(雨情道路)を上る。



階段と舗装されたスロープ道 10:38 山頂まで約10分



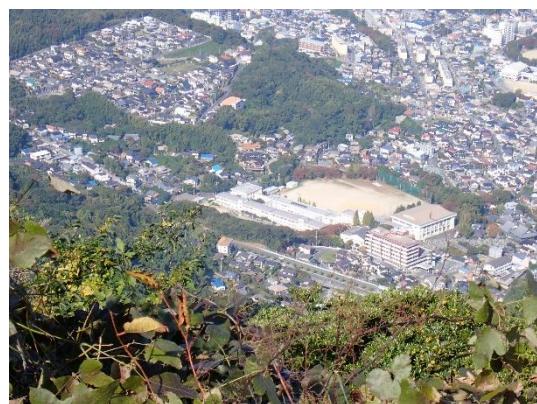
山頂広場に辿り着いた 10:40 快晴でテンション上がる



八幡西区～遠賀方面



手前から八幡東区・洞海湾・若松区(石嶺山～高塔山)、その向こうには響灘と洋上風力発電
山頂は快晴で見晴らしもバツチリ



眼下に福岡県立八幡中央高校



洞海湾に架かる若戸大橋(右奥)



皿倉山山頂 10:46 622m 東京スカイツリーより12m低い

皿倉山の名は、神功皇后(じんぐうこうごう)がこの山に登ったとされる言い伝えから、下山する時には日が暮れていって、「更に暮れたり」と言ったことから、皿倉山の名がついたと言われている。



整備された山頂(東側) 滑り台やブランコなどが北九州市によって新設整備された
正面奥に見えるのは小倉の足立山～門司の戸ノ上山に至る稜線



北九州市街を一望できる天空のブランコ



たくさんの人人が座れるベンチも整備されている



大きな滑り台は何故か平日使用禁止

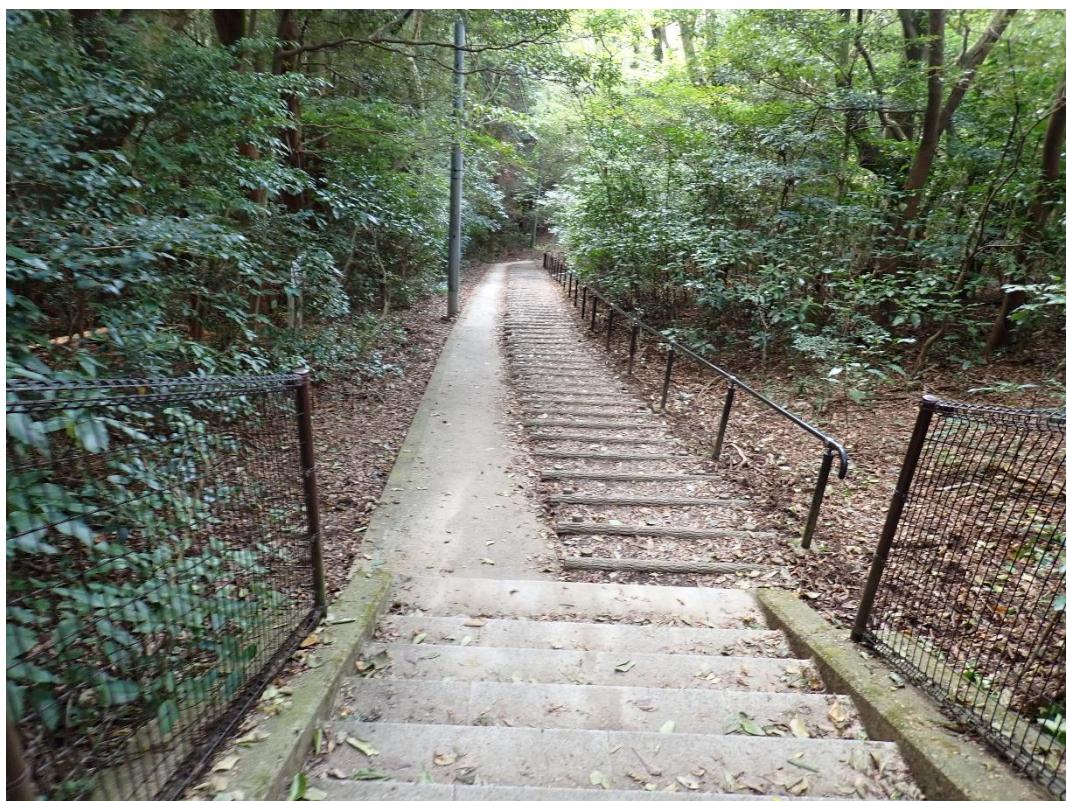


滑り台利用には安全確保が第一。ルールを守って楽しみましょう！

6才～12才の子供さんのみ滑ることが出来ます。



山頂からは長い階段のシルバー道路と冒険の森を通ってビジターセンター前へ 11:15



ビジターセンターの左横から階段を下っていく 11:19



皿倉平 11:23 ここから皿倉平を通り過ぎて権現山へ



権現山周回路へ進む 11:25 この道を50分ほど歩くとまたここに戻ってくる



皇后杉を通過 11:35 オーラ漂う空間

権現山周回路の途中に大きな皇后杉が現れる。神功皇后(じんぐうこうごう)の伝説にちなんで、皇后杉(こうごうすぎ)とよばれている。この辺りは巨樹老木が多く、樹齢400年という長い歴史を生き抜いてきた神秘的な重々しさを感じる空間でもある。



皇后杉から10分程歩くと周回路の左手に鳥居が見えた 11:44
ここから権現山の山頂を目指す！



鷹見神社の上宮を通過 11:47



鷺見神社奥宮を通過 12:00 安全登山を祈願して参拝



権現山山頂 12:03 <昼食休憩> 618m (皿倉山より4m 低い)
山頂広場奥にあるベンチに腰を下ろしてようやく休憩



以前は皿倉山もよく見えていたが、木々が成長して視界が遮られるようになった
ケーブルカー山上駅とビジターセンターが見えている



約40分の昼食休憩を終えて下山開始 12:47 この辺りの紅葉はまだ色付いていない



皿倉平 13:03 ここから表登山道(舗装道)を歩いて下山する
話をしながらゆっくりゆっくり下る



四合目の「花尾分かれ」を通過 13:51



ケーブルカーが下って来た 14:23 黄色の車体なので「はるか号」だ！
もう一台の青色の車体は「かなた号」



皿倉山ケーブルカー山麓駅 14:43
4時間23分の山歩きが終了
スマホの歩数計は18253歩。(歩きすぎたかな？)
Y君お世話になりました。お疲れさまでした。